安全データシート

SDS No. : DV004J-001-06
作成　　: 2011 年 5 月 31 日
改訂　　: 2026 年 8 月 7 日

製品名：この SDS はドラムカートリッジ（DK18C）に含有しているデベロッパーの SDS です。

1 化学品および会社情報

化学品の名称：	デベロッパー
供給者の会社名：	村田機械株式会社
住所：	〒 612-8686　京都市伏見区竹田向代町 136
担当部門：	情報機器事業部 品質保証グループ
電話番号：	075-672-8279
FAX 番号：	075-682-3676
使用機種：	V-1800, 1810, MFX-2200, 2215, MFX-2700, 2715, 2870, 2875

2　危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	区分
物理化学的危険性	分類対象外、区分外、または分類できない。
健康に対する有害性	分類対象外、区分外、または分類できない。
環境に対する有害性	分類対象外、区分外、または分類できない。
GHS ラベル要素	
絵表示：	なし
注意喚起語：	なし
危険有害性情報：	なし
注意書き：	なし

取扱い上の注意事項

{安全対策}	・容器から出し入れするときは、こぼさないようにしてください。
	・取り扱い中は、必要に応じて防塵マスク、保護手袋を着用してください。
	・環境への放出を避けてください。
	・使用前に SDS をご参照ください。
{応急措置}	・吸入した場合は空気の新鮮な場所に移動し、休息させてください。
	・皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。
	・眼に入った場合は、水で 15 分以上、注意深く洗ってください。
	・身体上の異常が生じた場合には、医師の診断 手当てを受けてください。
{保管}	・火気のない換気の良い冷暗所に保管してください。
{廃棄}	・廃掃法及び地方条令に従って産業廃棄物として適切に処分してください。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

拡散した場合、爆発可能性のある粉じん－空気混合物を形成する可能性があります。
火気・静電気・火花等に曝されないように注意してください。

安全データシート

SDS No. : DV004J-001-06

3　組成および成分情報

混合物の区別：　　混合物

成分および濃度または濃度範囲

化学名	官報公示整理番号	CAS RN®	含有量（重量%）
フェライト＊ 構成成分： 　酸化鉄 　酸化銅 　酸化亜鉛 　二酸化ケイ素 　酸化マグネシウム	該当なし	66402-68-4	85-95
コート剤	登録あり	登録あり	1-7
ポリエステル樹脂	登録あり	登録あり	1-7
カーボンブラック＊	対象外	1333-86-4	1-5

＊：「15. 適用法令」の項を参照のこと。

4　応急措置

吸入した場合：　直ちに新鮮な空気の場所に身体を移し、保温し、安静にする。必要であれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：　付着部を清浄な水と石鹸で洗浄する。必要であれば医師の診断を受ける。

眼に入った場合：　直ちに清浄な水で少なくとも 15 分間、洗眼する。必要であれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：　直ちに清浄な水で、うがいさせる。必要であれば医師の診断を受ける。

予想される急性症状および遅発性症状：　長期間にわたって多量に吸入した場合、肺障害を引き起こすことがある。

5　火災時の措置

適切な消火剤　泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂及び霧状水を使用する。

使ってはならない消火剤　棒状注水 、高圧水

消火方法　火元への燃焼源を断ち、適切な 消火剤を使用して消火する。
消火作業は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護　消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
燃焼ガスには、一酸化炭素等のほか、窒素酸化物系のガスも含まれるので消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　作業には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用し、粉塵を吸入しないようにする。
付近の着火源になるものを取り除く。

環境に対する注意事項　漏洩物が排水溝、河川等に排出されないようにし 、環境影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法および機材　粉塵が舞うのを防止するため、可能ならまず湿らせる。
飛散しないように箒等で掃き集めるか、雑巾等で拭き取る。

安全データシート

7　取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術対策：	火気厳禁。火気のある場所および電気火花の発生する場所では取り扱わない。
安全取扱い注意事項：	適切な換気、排気装置のもと防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し作業する。空気移送、バグフィルター等の設備は、静電気を除去するための接地を行う。
接触回避：	酸化性物質
衛生対策：	取り扱い後、手洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件：	直射日光、高温多湿を避け、風通しのよい冷暗所にて保管する。

8　ばく露防止および保護措置

設備対策：	粉塵を発生させるような取扱をする場合には、密閉された装置、機器、又は局所排気置を使用する。
管理濃度：	未設定
許容濃度（製品として）：	日本産業衛生学会（2020 年版）第三種粉塵 2mg/m3（吸入性粉塵） 8mg/m3（総粉塵） ACGIH TLV: TWA(2016) 3 mg/m3 (Particles n ot otherwise s pecified: Respirable Particles) 10 mg/m3 (Particles n ot o therwise s pecified: Inhalable Particles) 3 mg/m3（吸入性粉塵）：ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ（成分として）

測定方法　JIS Z 8813 に従って浮遊粉塵濃度を測定する。

保護具

呼吸用保護具　防塵マスク

手の保護具　保護手袋

眼および／または顔面の保護具　保護眼鏡

皮膚および身体の保護具　長袖作業衣、保護長靴

9　物理的および化学的性質

物理的状態：	粉末
色：	黒色
臭い：	わずかな特異臭
融点／凝固点：	データなし
沸点または初留点および	
沸点範囲：	非該当
可燃性：	データなし
爆発下限界および	
爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	水に対し不溶
n- オクタノール／水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度および／または相対密度：	約 5.0g/cm3
相対ガス密度：	データなし

安全データシート

粒子特性：　データなし

10 安定性および反応性

反応性：　自己反応性なし。
化学的安定性：　一般的な貯蔵・取扱において安定である。
危険有害反応可能性：　反応性なし。
避けるべき条件：　高温多湿、火気、静電気、火花等
混触危険物質：　酸化性物質
危険有害な分解生成物：　不完全燃焼に伴う一酸化炭素等の有害性ガス。

11 有害性情報

急性毒性：　データなし
皮膚腐食性／刺激性：　データなし
眼に対する重篤な
損傷性／刺激性：　物理的刺激のみ。
呼吸器感作性または
皮膚感作性：　データなし
生殖細胞変異原性：　Ames 試験 類推陰性＊
＊類似製品の試験結果の情報から類推
発がん性：　カーボンブラックは、IARC グループ 2B（ヒトに対する発がん性が疑われる）に分類されている。
生殖毒性：　データなし
特定標的臓器毒性
（単回ばく露）：　データなし
特定標的臓器毒性
（反復ばく露）：　データなし
誤えん有害性：　データなし

12 環境影響情報

生態毒性：　データなし
残留性・分解性：　データなし
生体蓄積性：　データなし
土壌中の移動性：　データなし
オゾン層への有害性：　データなし

13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報

- 廃掃法及び地方条令に従って産業廃棄物として適切に処分する。
- 焼却する場合　焼却処分の際には、スクラバー等を具備する大気汚染防止法適合焼却装置で処分する。
- 使用済容器は廃掃法および地方条令に従って産業廃棄物として適切に処分する。

安全データシート

SDS No. : DV004J-001-06

14 輸送上の注意

国連番号：	付与なし
品名：	付与なし
国連分類：	分類なし
容器等級：	付与なし
海洋汚染物質：	情報なし
港則法：	情報なし
船舶安全法：	情報なし
航空法：	情報なし
輸送時の安全対策および条件：	特別の注意事項なし

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法施行令第十八条の二（名称を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物）：

フェライト構成成分（酸化鉄、銅及びその化合物、酸化亜鉛）、カーボンブラック

16 その他の情報

参考文献： 許容濃度等の勧告（産業衛生学会）, 2020
Guide to Occupational Exposure Values / TLVs and BEIs (ACGIH, 2016)

免責文： 新しい知見の発表や従来説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理 化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱を対象としたもので、特殊なお取扱の場合には、この点にご配慮をお願いします。
記載内容は当社の善意の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。ご使用者各位の責任において安全な使用条件を設定下さいますようお願いいたします。また、特 別な取扱をする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。当製品 SDS は、日本国内法規を基準に作成したものです。